

決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成23年5月31日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわないようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

平成23年3月期の概況

	平成22年3月期			平成23年3月期		
百万円	計画	金額	伸率	計画※	金額	伸率
売上高	14,092	14,741	-9.2	15,934	16,256	10.3
営業利益	1,015	1,044	-42.8	1,686	1,645	57.5
経常利益	1,182	1,238	-27.6	1,505	1,523	23.0
当期純利益	780	737	-15.1	879	774	5.0
1株当り当期純利益	82円64銭	78円08銭	-	93円12銭	82円00銭	-

※平成22年11月8日発表の修正計画

- 増収増益。
- 売上：米国や中国など海外市場は需要が増加基調である。国内市場は特定分野の例外はあるが、依然として回復が遅れており低調である。
- 利益：急激な円高の影響を受けたものの、売上の増加及び原価低減等により粗利率が改善。一方、電子部品事業における新工場の稼動に伴う減価償却費や製造ラインの移管及び運送等の費用の増加、東日本大震災発生による生産調整等により利益が圧迫。

受注・受注残の状況

百万円	22年3月期		23年3月期			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	12,400	3,771	14,121	13.9%	4,289	13.8%
電子部品事業	2,168	198	2,130	-1.8%	70	-64.7%
その他事業	348	110	425	22.1%	140	27.6%
合計	14,917	4,079	16,677	11.8%	4,500	10.3%

・ ポンプ事業

- － 海外市場は需要が増加傾向であるが、国内市場は全体として回復が遅れている。
- － ポリシリコン向けは好調。
- － 中国においては、高速鉄道向けも好調。

・ 電子部品事業

- － 自動車用電装品の電子機器ユニットは自動車産業の生産回復により需要が回復傾向にあったが、東日本大震災の発生によって生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けている。

事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他事業	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

今期業績見通し

【通期予想】

百万円 伸率%	23年3月期(実績)		24年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	16,256	10.3	16,893	3.9
営業利益	1,645	57.5	1,706	3.7
経常利益	1,523	23.0	1,747	14.7
当期純利益	774	5.0	1,048	35.5
1株当り当期純利益	82円00銭		111円13銭	

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

今期業績見通しのポイント

- ・ **ポンプ事業**

- － 内需については東日本大震災の影響があるものの、回復が遅れていた設備投資需要や震災復興需要が見込まれる。
- － 外需についてはBRICs等でのインフラ整備に関わる需要（高速鉄道、原発、電力網の整備、ビル建設等）や設備投資意欲旺盛な太陽電池向け高純度シリコン製造設備における需要に期待。
- － 超大型キャンドモータポンプの受注活動本格化。
- － 調達先の海外調達の拡充を含む多様化・まとめ発注や設計・生産の効率化により原価低減を行う。

- ・ **電子部品事業**

- － 東日本大震災の発生により、生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響が上半期中盤まで想定されるが、その後は自動車用電装品の需要は回復傾向をたどると見込まれる。利益面においては新工場移転に係る最後の製造ライン移管費用を見込む。

- ・ **その他事業**

- － 企業の設備投資回復による昇降機関連需要の増加に期待。

今後の成長戦略

海外事業の強化

- ・ 北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。

- － メカニカルシールポンプ市場への侵攻。
- － 超大型キャンドモータポンプの受注。
- － 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大。
- － 市場拡大のための代理店網の営業力強化。
- － TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充。

- ・ 中国(近年、ケミカル産業が急成長している)

電力、鉄道などインフラ整備に係る需要は引き続き好調。石油化学業界は旺盛な設備投資が見込まれる。

- － 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- － 営業力強化・サービス体制の拡充。(09年2月 江蘇省無錫市にサービス工場設立、2009年6月 山東省済南市にサービス工場設立、2009年10月 山東省青島市に営業所新設、)
- － 内部管理体制の拡充。(与信管理・キャッシュフロー重視・回収強化)
- － 生産効率改善、コストダウン。

中期的な経営戦略と目標

- 中期的な経営戦略

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品作り」「地球環境に優しい製品作り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- 経営目標

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
 - 海外売上高比率55%以上(平成23年3月末53.7%)
 - 売上高経常利益率12%以上(平成23年3月末9.4%)

配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成20年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成21年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成22年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成23年3月期	10円00銭	10円00銭 (予定)	20円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

決算説明

常務取締役総務本部長
柴田直行

会社概要

プロフィール

12

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曽根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,286 m ²	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州ドーバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 23 年 3 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月 5 月	大阪証券取引所市場第二部に上場 キャンドモータポンプが PTB (ドイツ国政府防爆検定機関物理工学研究所) 防爆検定に合格
業種	電気機械器具の製造販売	平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 15 年 2 月	子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社)買収
従業員数	1,200 人(連結)、308 人(単体) (平成 23 年 3 月末)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
事業所数	2 工場、5 営業所、3 出張所	平成 17 年 10 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 18 年 9 月	東京証券取引所市場第一部に上場
社是		平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月	大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センターおよび 上月電装新工場竣工
みんなで良くなろう		10 月 平成 21 年 2 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
誠実に事に当たろう		平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
積極的にやろう		平成 22 年 4 月 平成 22 年 5 月	平福電機新工場竣工 TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY 社のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得

平成23年3月期 連結損益計算書の概要

単位 百万円	連結	前年同期比 %
売上高	16,256	+10.3
売上原価	10,148	+5.9
売上総利益	6,107	+18.4
販売費・一般管理費	4,462	+8.5
営業利益	1,645	+57.5
営業外損益	▲122	
経常利益	1,523	+23.0
特別損益	▲20	
税引前利益	1,503	+26.2
法人税等	729	
当期純利益	774	+5.0

[期末評価為替: 1US\$=81.52円、1元=12.31円、1EUR=107.95円、1TW\$=2.79円、1KRW=0.07]

四半期推移

百万円	平成22年3月				平成23年3月			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	3,450	3,618	3,423	4,248	3,530	4,094	4,418	4,212
営業利益	219	268	259	297	311	515	659	158
経常利益	301	253	315	368	204	461	639	218
当期純利益	104	142	245	244	62	235	416	59
1株当り当期純利益	11円05銭	15円12銭	25円98銭	25円93銭	6円65銭	24円95銭	44円15銭	6円25銭

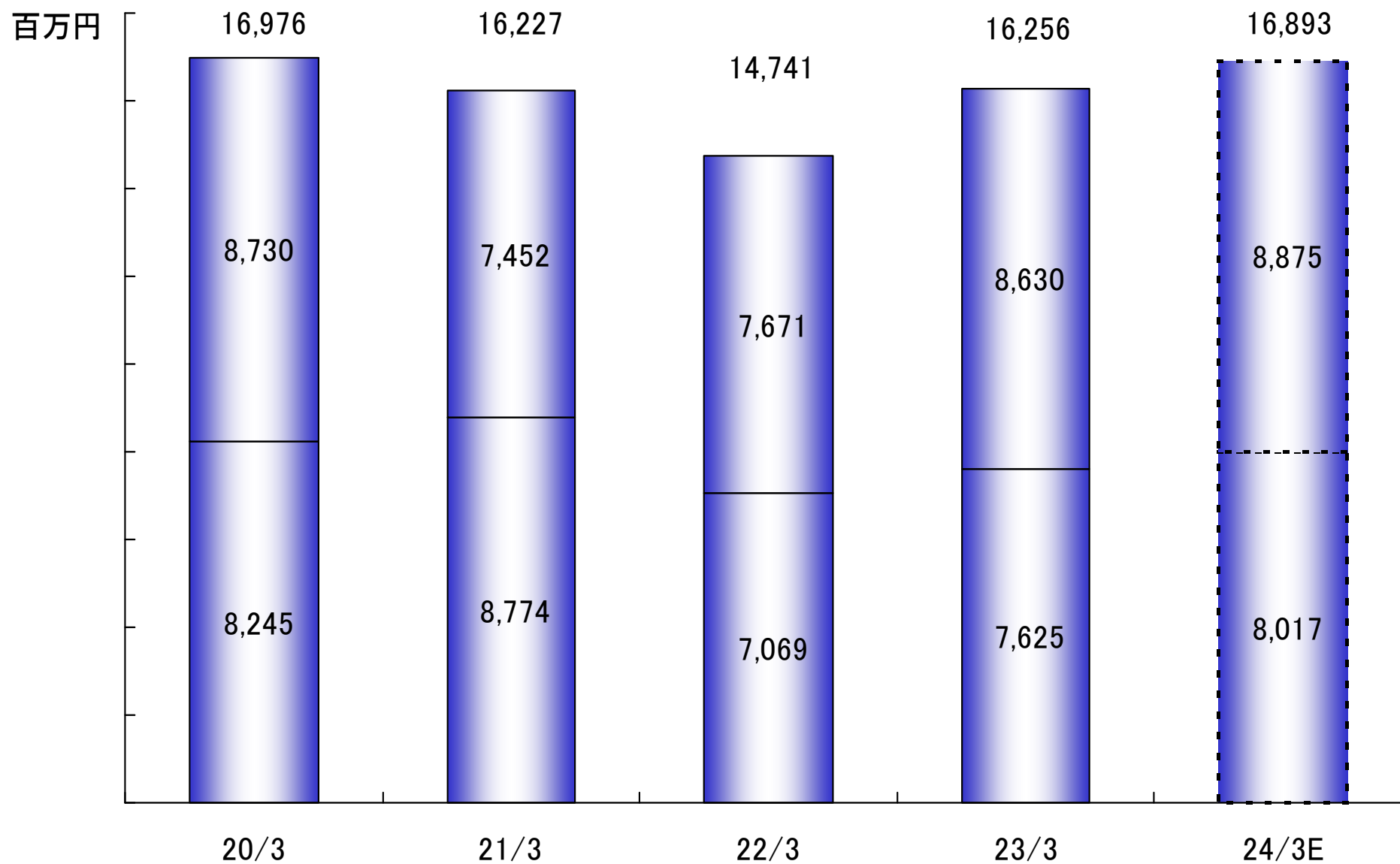
- ・ 平成23年3月期を通して売上は堅調に推移したが、東日本大震災により電子部品事業を中心に生産調整等の影響を受けた。

今期計画

単位 百万円	通期	前期比 増減%
売上高	16,893	+3.9
売上原価	10,534	+3.8
売上総利益	6,358	+4.1
販売費・一般管理費	4,652	+4.3
営業利益	1,706	+3.7
経常利益	1,747	+14.7
当期純利益	1,048	+35.5

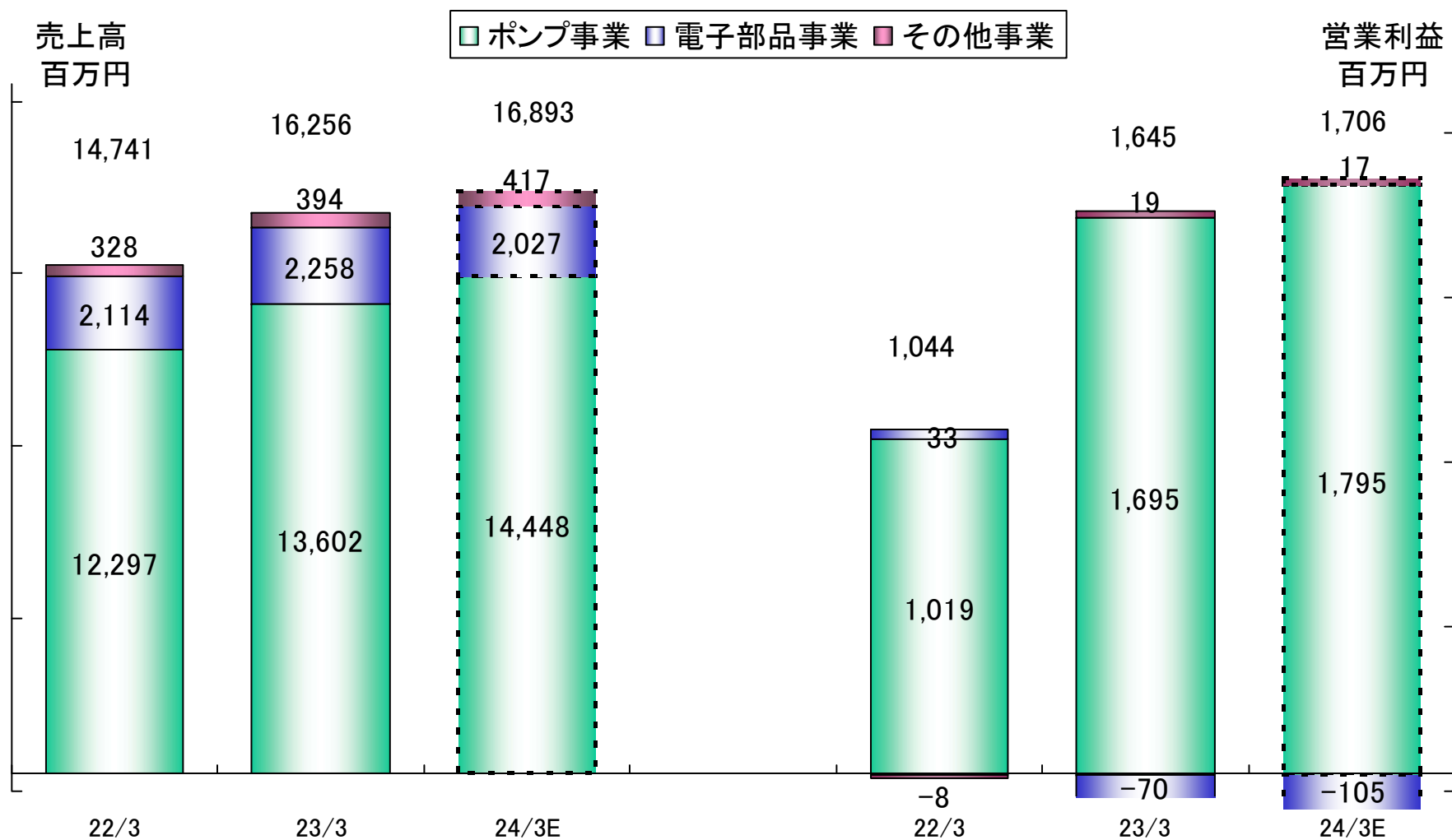
[計画為替レート: 1US\$=80.0円、1元=12.5円、1EUR=110.0円、1TW\$=3.0円、1KRW=0.07]

売上高の推移

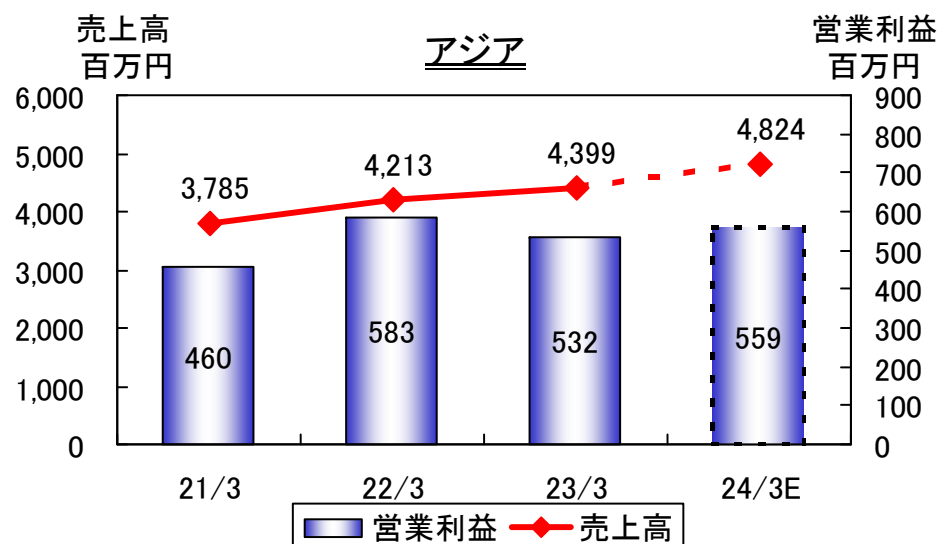
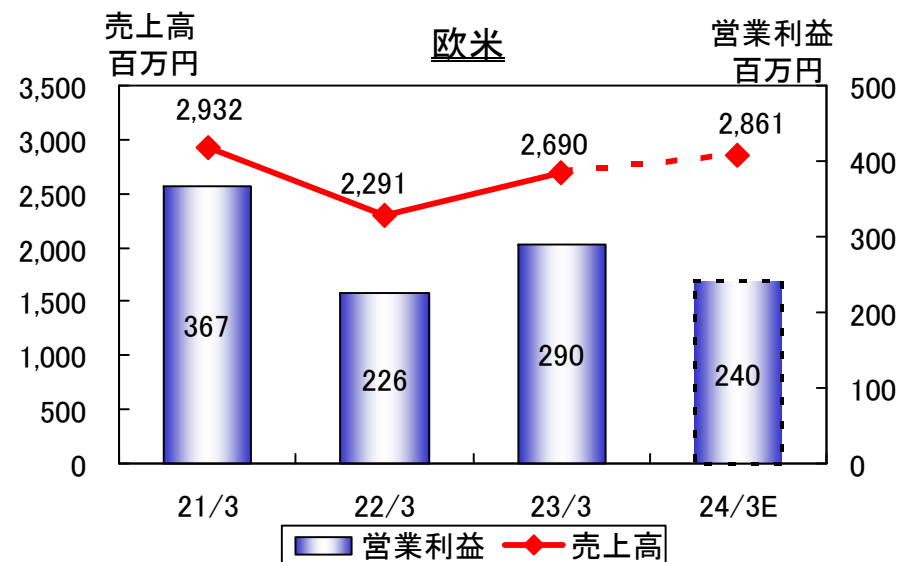
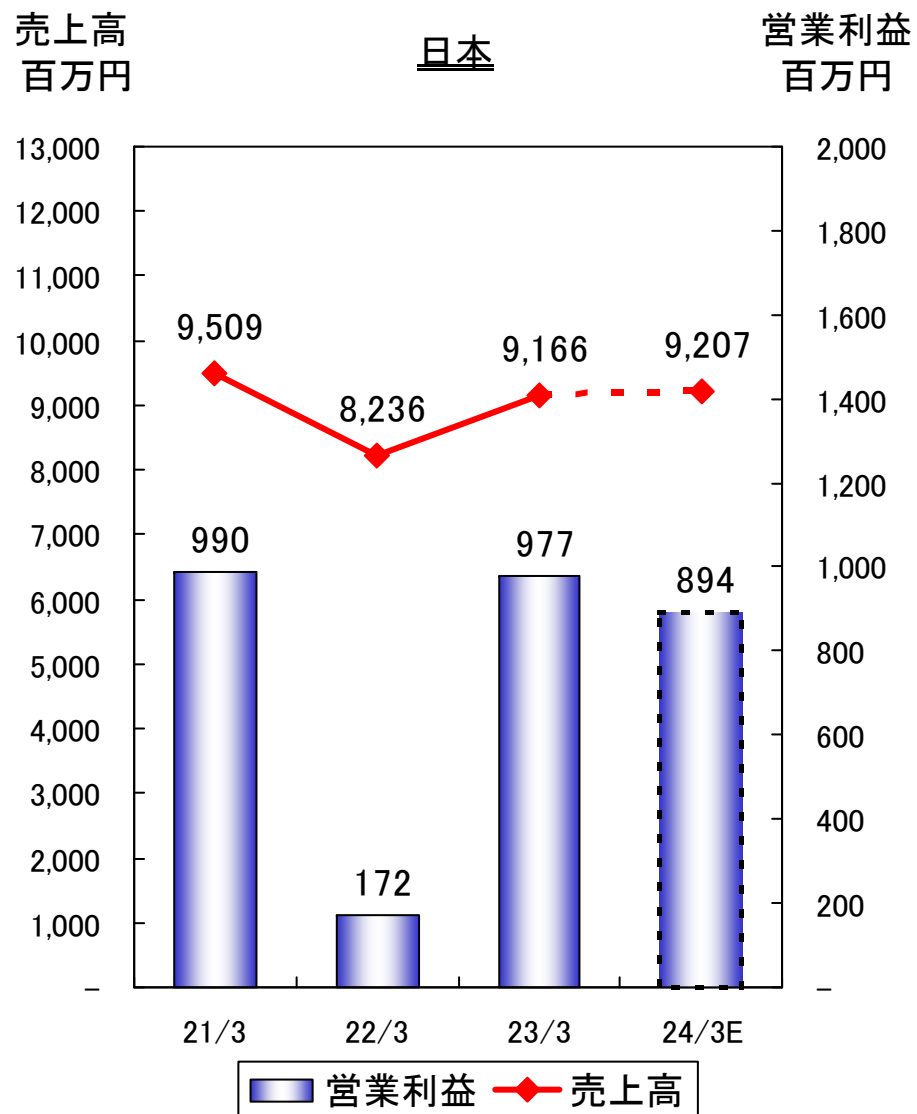


注) 予想数字は要注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意下さい

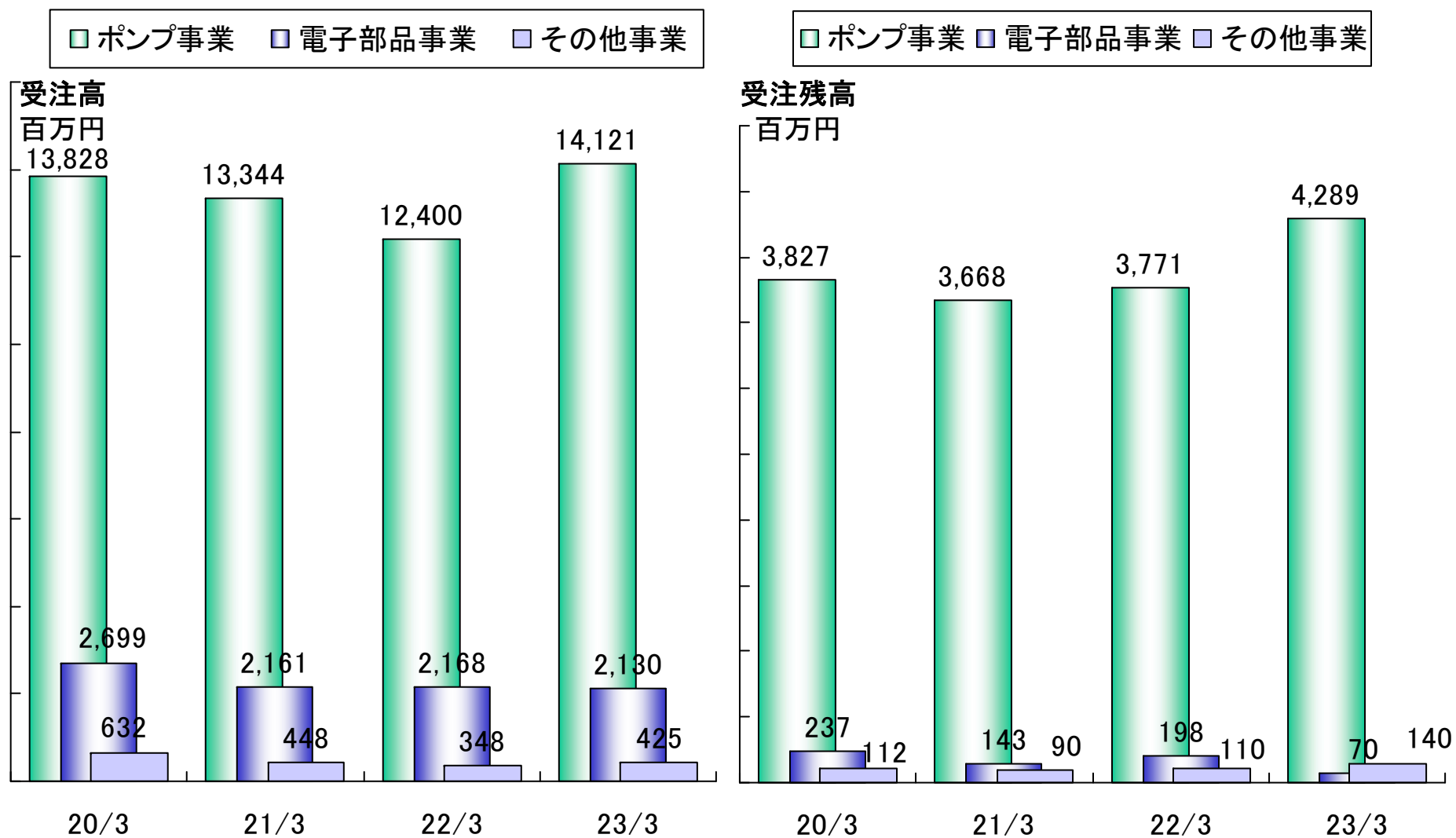
事業の種類別セグメント



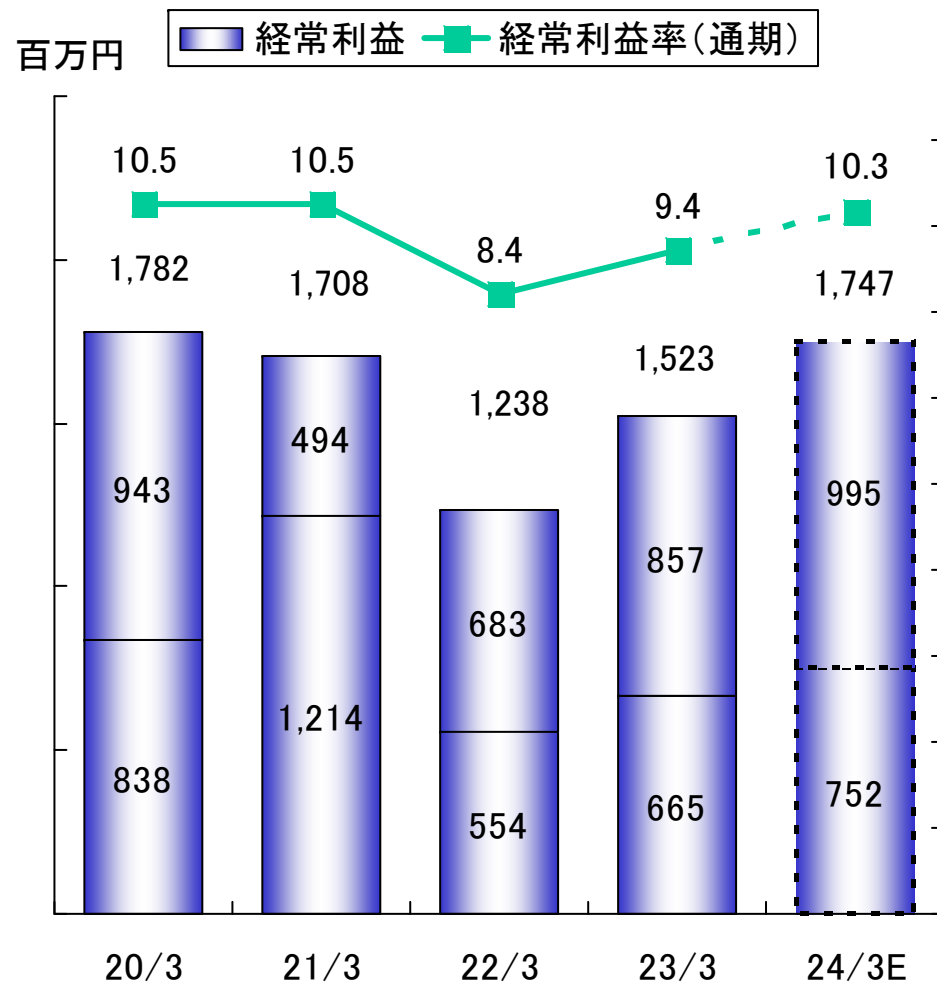
所在地別セグメント



事業の種類別受注と受注残高



経常利益



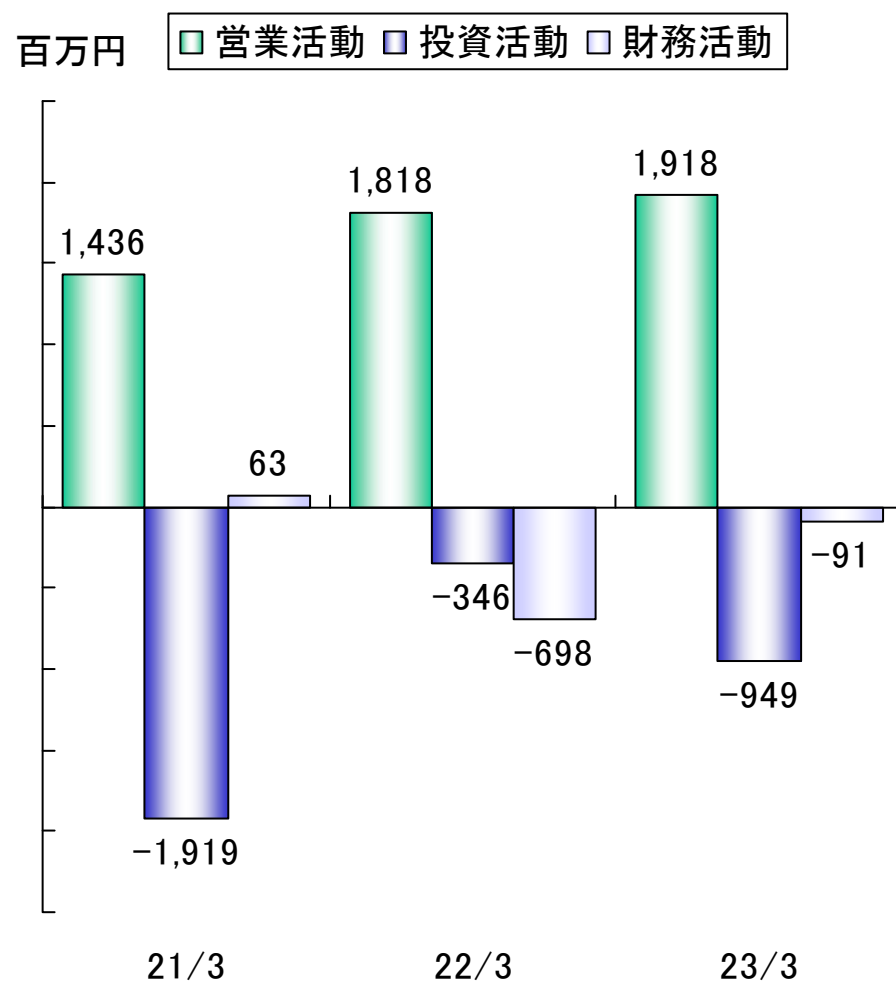
増減要因(前期比)

経常利益	+285百万円
販管費	+349百万円
(うち人件費)	+225百万円)
営業外収益	▲96百万円
営業外費用	+219百万円
親会社	+500百万円
国内子会社	▲19百万円
海外子会社	+9百万円

平成23年3月期 連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
流動資産	11,986	1,407	流動負債	4,425	1,226
現預金	3,509	736	支払手形・買掛金	1,795	427
受取手形・売掛金	5,071	146	短期借入金	527	67
製品	1,002	310	その他	2,101	731
仕掛品	1,177	278			
原材料及び貯蔵品	797	▲18	固定負債	1,218	▲134
その他	427	▲46	その他	1,218	▲134
固定資産	7,039	85			
有形固定資産	5,424	▲83	純資産	13,382	400
無形固定資産	309	204	株主資本	13,641	585
投資その他の資産	1,305	▲35	その他の包括利益累計額	▲258	▲184
資産合計	19,025	1,493	負債及び純資産合計	19,025	1,493

キャッシュフローと設備投資



設備投資(取得ベース)

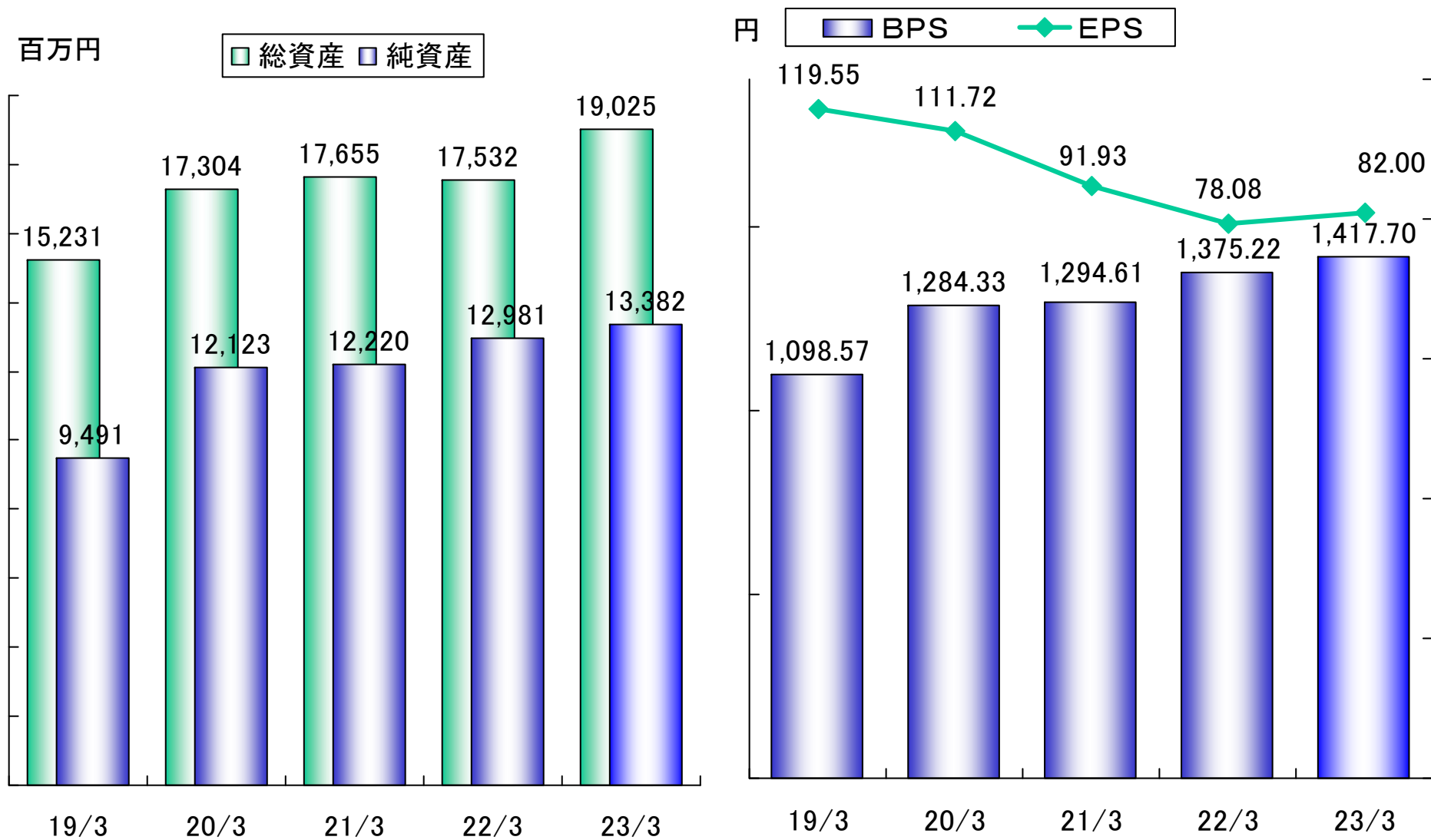
実績

親会社	178百万円
子会社	337百万円
合計	516百万円

計画(通期)

親会社	390百万円
子会社	261百万円
合計	651百万円

総資産、純資産、BPS、EPS



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



TEIKOKU

株式会社 帝国電機製作所